

ハートがたくさんの村づくり

差別のない、人への思いやりを大切にする、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。今回は、「人権」と「権利」についてお伝えします。

私たちの生活を支えている「人権」と「権利」

「人権」と聞くと、自分の生活とは関係ないものと思われるかもしれませんが、しかし実は、「人権」は、私たちの日々の生活を支える、とても身近で、大切なものです。人権が私たちの暮らしや社会とどう結びついているのかを、「権利」を通して、考えていきましょう。

人権が、「あたりまえ」をつくりだします。

自分が思っていることを自由に言葉にする、自分が信じる宗教を選ぶ、自分が興味があることを自由に選んで勉強する、自分で選んだ人と結婚する、自分が気に入った服を買う(着る)こと。これらのことがすべて、私たちが持っている「人権」です。たとえば、政策などがおかしいと思ったら、「それはおかしい」と言うこともできます。子どもたちはみんな、学校で自由に学ぶことができます。お腹が痛ければ、医療機関に行って診

察をしてもらえます。好きな人ができたら結婚することができず。これらのことは基本的に自由にできます。

憲法で保障されており、現在では、「あたりまえ」と思われていることが人権です。しかし、「あたりまえ」ではなかった時代がありました。これらの「人権」を「あたりまえ」に変えたのは、これらの人権がなかったために苦しんでこられた無数の人びとの願いと命を掛けた闘いがあったからです。

「権利」って、なんだろう？

「人権」というものは、言葉が示す通り、権利の一種です。では、そもそも「権利」となんでしょうか？実は、人権を正しく理解するには、「権利」というものをしっかりと理解することが重要になります。「権利」とは、なんでしょうか？少し難しいですが、「権利」とは「社会全体が護るべき基準(ルール)にのっとり、求めることができるもの」ということができます。

似たような概念として、「道徳」や「倫理」といったものが掲げられます。ただし、「権利」が両者と決定的に異なる点があります。それは、「(誰かに)実現することを要求できる」という点です。「権利」については、実現しなくてはならない責任者がいるのです。

「権利」には、いろんな性質のものがあります。私たちは、買い物をするときに代金(対価)を払えば何らかの商品を所有する権利が生まれます。代金を払ったのに、品物を渡してもらえなければ、私たちは、裁判に訴えることができます。権利があるから、私たちは、それを実現してもらうように求めることができます。

人権は、いろんな裁判の中でも特別に重要な権利なのです。人間が人間らしく生きるために必要な権利であるからです。だから、どんな人間でも、代金(対価)を払わなくても求めることができるのです。

村民みんな「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。